



TOKYO

KYOTO

OSAKA

泉屋博古館
東京

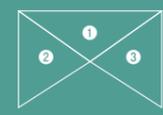
泉屋博古館東京 リニューアルオープン記念展 I

日本画 トライアングル

画家たちの大阪・京都・東京

NIHONGA of the Three Capitals — Osaka, Kyoto and Tokyo

2022.3.19 SAT ▶ 5.8 SUN



① 木島櫻谷(柳桜図)(右隻・部分) 1917年
② 橋本雅邦(深山猛虎図)(部分) 1890年頃
③ 上島鳳山(十二ヶ月美人)のうち「七月 七夕」(部分) 1909年
*作品はすべて当館所蔵

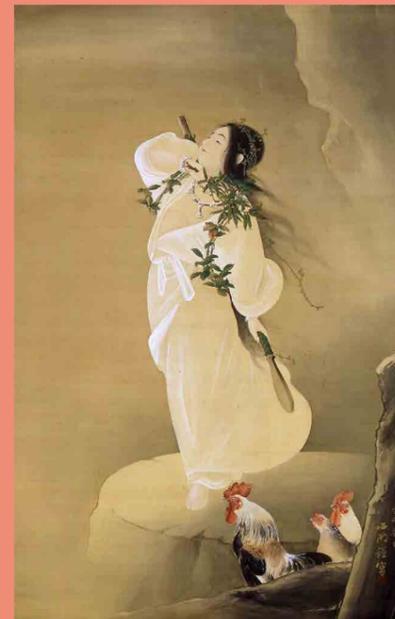
【開館時間】11:00~18:00
* 金曜日は19:00まで開館 * 入館は閉館の30分前まで
【休館日】月曜日、3月22日(火) * 3月21日(月・祝)は開館
【入館料】一般1,000円(800円)、高大生600円(500円)、中学生以下無料
* 20名様以上の団体は()内の割引料金。* 障がい者手帳ご展示のかたはご本人および同伴者1名まで無料です。
【主催】公益財団法人泉屋博古館、日本経済新聞社
● 会期中展示替えがあります。前期:3月19日(土)~4月10日(日) 後期:4月12日(火)~5月8日(日)
● 新型コロナウイルス感染症予防・拡散防止のため、予定を変更・中止する場合がございます。
最新の情報は当館ウェブサイトをご確認ください。



木島楓谷(柳桜図) 1917年



望月玉深(白雉孔雀図) 1909年



原田西湖(乾坤再明図) 1903年

本展は当館のリニューアルオープンを記念して、日本画コレクションの全貌を展覧するものです。住友コレクションの日本画は、大阪・京都・東京の三都でそれぞれ活躍した画家の作品から構成されている点にその特徴があります。政治や経済の中心地であるこれらの都市には、近代以前からそれぞれの風土で育まれた独自の美術文化が形成され、多様な価値観は今もなお脈々と受け継がれています。本展で紹介する日本画は、各都市の空気を十分に吸い込んだ、ローカルカラーに富む表現が見どころです。三都の日本画を擁する住友コレクションを通じて、住友と各地域の画家との交流について紹介するとともに、明治・大正・昭和の日本画壇を横断的に眺め、地域に根差した日本画の魅力とその多様性をご覧いただけます。

KYOTO 京都

泉屋博古館東京 リニューアルオープン記念展 I

日本画トリアングル

NIHONGA of the Three Capitals — Osaka, Kyoto and Tokyo

東京 TOKYO

OSAKA 大阪



上島鳳山(十二ヶ月美人)のうち「七月 七夕」 1909年



山田秋坪(拓榴花白雉図) 1920年



深田直城(春秋花鳥之図)(右幅) 19~20世紀



橋本雅邦(深山猛虎図) 1890年頃



高島北海(草花図屏風(梅雨・早秋)) 1913年



小林古徑(人形) 1939年

トウキョウトオオサカ、画壇の三角関係

会期中のイベント

詳しく作品解説「上島鳳山(十二ヶ月美人)徹底鑑賞」(要事前申込・要観覧券)

▶ 3月26日(土) 14:00~15:30

[登壇者] 田所泰氏(実践女子大学香雪記念資料館学芸員)、古川咲氏(共立女子大学大学院博士後期課程)、椎野晃史(当館学芸員)

「日本絵画の修復(アートwithシリーズ)」(要事前申込・要聴講料)

▶ 4月15日(金) 18:00~19:00

[講師] 半田昌規氏(国宝修理装演師連盟副理事長、半田九清堂代表取締役社長)
[聴講料] 500円 ※展覧会をご覧になる場合は別途観覧料が必要になります。

座談会「トライアングルトーク 大阪・京都・東京の日本画」(要事前申込・要観覧券)

▶ 4月29日(金・祝) 14:00~16:00

[登壇者] 橋爪節也氏(大阪大学総合学術博物館教授)、中野慎之氏(文化庁文化財第一課絵画部門 文化財調査官)、野地耕一郎(当館長)、椎野晃史(当館学芸員)

ギャラリートーク(要観覧券)

▶ 4月9日(土)、23日(土) 各回14:00~15:00

スライドトーク(要観覧券)

▶ 会期中の日曜日 各回14:00~14:30

※各プログラムの詳細、お申込みについては当館ウェブサイトをご覧ください。

2022.3 RENEWAL

泉屋博古館東京(旧・泉屋博古館分館、以下「当館」)は、泉屋博古館(京都・鹿ヶ谷)の分館として、東京・六本木一丁目の住友家旧麻布別邸跡地に2002年10月開館しました。当館は2019年末をもって改修工事のための長期休館期間に入り、2021年9月に竣工しました。2021年4月には館名を「泉屋博古館東京」へ変更し、開館20周年を迎える2022年3月にリニューアルオープンします。展示スペースの拡大とともに、カフェやミュージアムショップ、講堂などを新設し、ゆとりある鑑賞空間でより満足度の高い時間をお過ごしいただける美術館として再出発します。六本木一丁目のビジネスエリアの中にありながらも、豊かな緑に囲まれた安らぎの場として、今後も多くの皆様に親しんでいただけるよう活動してまいります。



HARIO CAFE 泉屋博古館東京店
営業時間 11:00~18:00

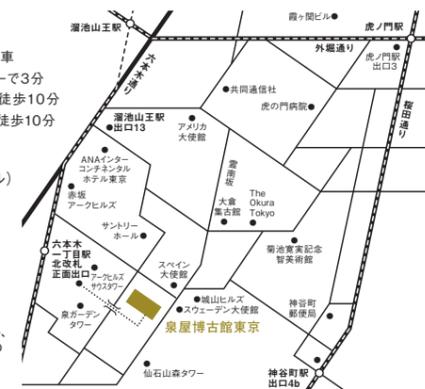
HARIOの器具で淹れたスペシャルティコーヒーや紅茶をお楽しみいただけるほか、それらのコーヒー器具やティー器具を実際にさわってご購入いただくことができます。

- [アクセス案内]
- 東京メトロ・南北線「六本木一丁目」駅下車
北改札正面出口より屋外エスカレーターで3分
 - 日比谷線「神谷町」駅下車・4b出口より徒歩10分
 - 銀座線「溜池山王」駅下車・13番出口より徒歩10分

〒106-0032 東京都港区六本木1-5-1
TEL 050-5541-8600 (ハローダイヤル)

f @SenOkuHakukoKanTokyo
t @SenOkuTokyo
i @senokuhakukokanmuseum_tokyo

●作品はすべて当館所蔵。
●新型コロナウイルス感染症予防・拡散防止のため、予定を変更・中止する場合がございます。最新の情報は当館ウェブサイトをご確認ください。



<https://sen-oku.or.jp/tokyo/>

泉屋博古館東京
SEN-OKU HAKUKOKAN MUSEUM TOKYO